

編集手帳

卒業式シーズンを迎えている。新たな旅立ちを祝う日に、ひところ少なからぬ学校で、日の丸・君が代を巡る不毛な混乱が伝えられたが、今年はどうだろう◆国旗・国歌として一昨年度法制化された。卒業・入学式で掲揚・斉唱を「指導するものとする」との学習指導要領は従来通りだが、全国の公立学校を対象にした昨年度の卒業式の調査で、掲揚・斉唱率はかなり高まった◆そんな中、いざさか気になる話を聞いた。国内のあるカトリック司教組織が全国のカトリック学校・幼稚園に、日の丸・君が代についての「お願い」文書を出していた◆カトリック学校の多くは従来から儀式で日の丸掲揚、君が代斉唱を行っているそうだ。その見直しを願うとする文書は「日の丸は侵略のシンボル」「君が代は統治者天皇を賛美」などと唱えている◆普遍・寛容で知られるカトリックにして、これほど観念的な見方があるのかと驚く。無論、教会全体の見解ではないが、学校や親たちに戸惑いがあるというからこれは内部で議論して頂く外にない◆卒業式で、日の丸を仰ぎ、君が代を歌うとき、日本の歩みに思いをさせてほしい。不幸な歴史を繰り返すまいとの気持ちに結ばば、それもいい。これから海外を旅する機会も増えるだろう。外国の国旗・国歌に対するごく自然なマナーも学んでほしい。